大学コンソーシアム富山 令和4年度「航空機入門」実施報告

	Tarre de la companya del companya de la companya del companya de la companya de l
事業名	単位互換 共同授業科目
	「航空機入門」
実施機関名/	富山県立大学
担当教員	担当教員:工学部機械システム工学科 坂村 芳孝 教授
趣旨・目的	航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習
	得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。
開催日時	令和4年8月22日(月)10時30分~16時10分
MITE H WI	8月23日(火)10時30分~16時10分
	8月24日(水) 10時30分~14時30分
明度相配	
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1
参加人数	3 6 名
	【内訳】 富山大学:18名
	高岡法科大学:1名
	富山高等専門学校:1名
	富山県立大学:5名
	一般:4名
	教員:6名(外部講師5名、担当教員1名)
	職員:1名
事業内容	【8月22日(月)】
	①大空への挑戦から未来飛行機へ(10:30~12:00)
	(講師:富山県立大学 客員教授 戸田 信雄)
	②飛行機構造設計 (13:00~14:30)
	(講師:ダイヤモンドオフィスサービス株式会社名古屋ビジネスセンター
	センター長 坂川 亨)
	③航空機部品生産の現場(14:40~16:10)
	(講師:株式会社石金精機 代表取締役 清水 克洋)
	【8月23日(火)】
	④飛行の原理-揚力と抗力/宇宙ロケットの基礎(10:30~12:00)
	(講師:富山県立大学 客員教授 戸田 信雄)
	【8月24日(水)】
	⑦航空機に関する最新の研究トピック(10:30~12:00)
	(講師:富山大学工学部 シニアアドバイザー 松島 紀佐)
	⑧エアラインにおける航空機の整備(13:00~14:30)
	(講師:全日本空輸株式会社整備センター技術部 担当部長 榎田 吉英)
	【9月2日(金)~9月30日(金)】※オンデマンド授業へ変更
	⑤空気力学の基礎
	⑥飛行力学の基礎
	(講師:富山県立大学工学部機械システム工学科 教授 坂村 芳孝)



8月22日(月)1限目「大空への挑戦から未来飛行機へ」



8月22日(月)3限目「航空機部品生産の現場」



8月24日(木)1限目「航空機に関する最新の研究トピック」

大学コンソーシアム富山 令和4年度「富山の地域づくり」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目「富山の地域づくり」
実施機関名	富山大学 大西 宏治(富山大学人文学部教授)
趣旨・目的	1. まちづくりが国や地方公共団体によって、多面的に取り組まれていることを理解すること。 2. 富山市の取り組むまちづくりについて、理解を深めること。
開催日時	令和4年8月24日(水),8月25日(木),8月26日(金), 8月27日(土)
開催場所	富山大学五福キャンパス及び大学コンソーシアム富山駅前キャンパス
参加人数	学生72名 【内訳】・富山大学(40名) ・富山県立大学(18名) ・富山高等専門学校(11名) ・高岡法科大学(2名) ・富山国際大学(1名)

事業内容

- ●第1日目 (8/24)
- 第1回 オリエンテーション:まちづくりとは?
- 第2回 立山黒部ジオパークと地域づくり (都市デザイン学部准教授・安江健一)
- 第3回 若者とシェアハウス (富山市民プラザ)
- 第4回 まちなかシェアハウスを起点とした賑わい創出 ワークショップ
- ●第2日目 (8/25)
- 第5回 富山市の中心市街地活性化の取り組み

(富山市まちづくり推進課)

- 第6回 富山市の環境政策とSDGs(富山市企画調整課)
- 第7回 富山市の観光政策とその課題(富山市観光政策課)
- 第8回 富山市のスマートシティ事業

(富山市スマートシティ推進課)

- ●第3日目 (8/26)
- 第9回 未来共創ワークショップ(1)
- 第10回 未来共創ワークショップ(2)
- 第 11 回 未来共創ワークショップ (3)
- 第12回 未来共創ワークショップ(4)
- ●第4日目(8/27)大学コンソーシアム富山駅前キャンパスにて実施
- 第13回 発表準備
- 第14回 発表会(1)
- 第 15 回 発表会(2)

最終日、発表会の様子





大学コンソーシアム富山 令和4年度「DX概論」実施報告

Г	T
事業名	単位互換 共同授業科目
	「DX概論」
実施機関名/	富山県立大学
担当教員	担当教員:工学部情報システム工学科 唐山 英明 教授
趣旨・目的	デジタル・トランスフォーメーション (DX) についての幅広い知識を習得す
	る。特に、大学(学)や自治体(官)における取り組みについて知り、理解を深
	める。
開催日時	令和4年8月25日(木)9時40分~17時00分
	8月26日(金)9時40分~17時00分
開催場所	オンライン (Zoom)
参加人数	5 7 名
	【内訳】 富山大学:15名
	富山短期大学:1名
	富山高等専門学校:5名 富山県立大学:15名
	一般:12名
	教員: 8名(講師 7名、担当教員 1名)
	職員:1名
ᆂᄣᆣᄷ	
事業内容	【8月25日 (木)】 のガイガンス (土巻 NDV DS (0 + 40 + 11 + 10)
	①ガイダンス/大学とDX・DS (9:40~11:10) (講師:富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明
	富山県立大学学長 学長 下山 勲)
	②富山県におけるDX推進の取組み(11:20~12:50)
	(講師:富山県知事政策局デジタル化推進室デジタル戦略課長 初田 正樹)
	③射水市DXビジョンと、市民生活のDXの進め方(13:50~15:20)
	(講師:射水市 CIO 補佐 揚原 安麿)
	④モノづくり分野のDX(1)(15:30~17:00)
	(講師:富山県立大学工学部機械システム工学科 准教授 寺島 修)
	【8月26日(金)】
	⑤モノづくり分野のDX(2)(9:40~11:10)
	(講師:富山県立大学工学部情報システム工学科 准教授 岩本 健嗣)
	⑥医療・福祉分野のDX(11:20~12:50)
	(講師:富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明)
	⑦屋外・フィールド分野のDX(13:50~15:20) (講師:富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科 星川 圭介 教授)
	(講師:富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科 星川 圭介 教授) ⑧人工知能とDX/まとめ(15:30~17:00)
	(清師:富山県立大学工学部情報システム工学科 准教授 榊原 一紀
	富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明)
	田田が立八丁工丁即旧代マハノの工丁川 数区 旧田 大切)



8月25日(木)1限目「ガイダンス/大学とDX・DS」



8月25日(木)4限目「モノづくり分野のDX(1)」



8月26日(金)4限目「人工知能とDX/まとめ」

	大学コンソーシアム富山 令和4年度「とやま地域学」実施報告
事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学(担当教員:助重雄久 富山国際大学 現代社会学部教授)
趣旨・目的	富山の歴史文化や産業・生活などを理解し、富山の今後の地域づくりについて考える。
開催日時	令和4年8月29日(月)~9月1日(木)の4日間
開催場所	富山県民会館 4 階 401 号室
参加人数	学生 101 名
	【内訳】・富山大学 21 名 ・富山県立大学 54 名 ・高岡法科大学 3 名
	・富山高等専門学校 11 名・富山国際大学 12 名
事業内容	【令和4年度概要】
	今年度の「とやま地域学」は、「デジタル社会のなかの富山」「富山の自然を活かす」
	「富山のものづくり、地域づくり」「富山の歴史を振り返る」の4つのテーマを設定
	し、受講生の皆さんにそれぞれの視点から富山の魅力を発見してもらい、活力ある富山
	の地域づくりを考えることを目的に企画・実施しました。
	講師陣は富山県内で活躍している各分野の専門家を招聘し、オムニバス形式で富山の財力となった。
	│魅力と自社の仕事内容について講義して頂きました。受講生にとっては、多くの情報を│学ぶことによって知識の幅が広がる講義となり、富山の一人としてより良い県にしてい
	子ぶことにより C知識の幅が広がる講義となり、 6日の - 八としてより良い原にしてい くにはどうすればよいか見つめ直す良い機会になりました。
	- 最終日に実施された授業評価アンケートも、5 段階中 4 と高評価であり、来年度も力
	を込めて企画していきたいと思いました。
	【第1日目:8月29日(月)】 ① 采品(川東波敦 ※以野大 毛松冰素)(0:00, 0:00)
	① 受付(出席確認・資料配布・手指消毒)(9:00~9:20) 学長投機
	学長挨拶 (富山国際大学学長 高木利久) (9:20~9:50)
	(雷山国族ステテ及 間外科人) (3・20 3・30)
	(富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久) (9:50~10:20)
	② 知事と語ろう 富山の未来
	③ (富山県知事 新田八朗 氏) (10:40~12:10)
	④ AI、デジタル化社会から見る富山
	(富山国際大学現代社会学部教授 新森 昭宏)(13:00~14:30)
	⑤ データから見る富山の生活と産業
	(富山国際大学現代社会学部准教授 大谷 友男)(14:40~16:10)
	【第2日目:8月30日(火)】

⑥ 富山の暮らしと豊かな水

(富山国際大学名誉教授 尾畑納子 氏) (9:00~10:30)

⑦ 立山黒部の自然とその多様性

(富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長 飯田 肇 氏)(10:40~12:10)

⑧ 北陸新幹線敦賀開業や黒部ルートの開業に向けた観光振興の取り組み (富山県地方創生局観光振興室室長 宮崎 一郎 氏) (13:00~14:30)

【第3日目:8月31日(水)】

- ⑨ 伝統と進化にこだわる醤油づくり
- (畑醸造株式会社専務 畑 彰 氏) (9:00~10:30)
- ⑩ 次世代エネルギーとしてのゼンマイの可能性
- (東洋ゼンマイ株式会社代表取締役社長 長谷川 光一 氏)(10:40~12:10)
- ⑪ 朝日町の良さを活かした移住・定住促進
- (特定非営利活動法人コクリエ代表理事 善田 洋一郎 氏)(13:00~14:30)
- ② 町家のリノベーションと地域活性化
- (グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏)(14:40~16:10)

【第4日目:9月1日(木)】

- ⑫富山市街地の歴史をたどる (レクチャー) (9:00~10:30)
- ⑬ 富山市街地の歴史をたどる (フィールドワーク) (10:40~12:10)
- ④ 富山市街地の歴史をたどる (グループ発表) (13:00~14:30)(富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏)
- ⑤まとめ、課題提出について (14:40~16:10) (富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久)



1日目の講義の様子 (富山県知事 新田八朗氏)

最終日 グループワークでの様子



大学コンソーシアム富山 令和4年度共同授業科目 「実践経営学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度共同授業科目
	「実践経営学」
実施機関名	高岡法科大学 担当教員:法学部 八坂徳明教授
趣旨・目的	経営学の「組織論」「戦略論」を主体に、将来のリーダーの役割を担う人材を育成する。 「組織論」では、社会人基礎力を鍛えて、組織のマネジメントを実践するための学びとリーダーの素養を身に付けるためのリベラルアーツを学ぶ。「戦略論」では、経営計画と PDCA について、事例研究から学ぶ。
開催日時	令和4年8月29日(月)~9月2日(金)
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室 2
参加人数	学生計33名:富山大学(6名)・富山県立大学(4名)・富山短期 大学(1名)・富山高等専門学校(5名)・高岡法科大学(17名)
事業内容	第1回 ガイダンスー社会人基礎力とは何か、戦略目標のある生き方、リカレント教育と生涯学習 講師:オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏 第2回 実践経営学とは何かー経営学「組織論、戦略論」、事例研究、リーダー育成プログラム 講師:オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏 第3回 鋳造の需要ー技術史と社会の変化ー 講師:富山大学 名誉教授 三船 温尚 氏
	第4回 地場産業、伝統工芸、デザイン、研究開発 講師:株式会社能作 代表取締役社長 能作 克治 氏 第5回 リベラルアーツ 講師:オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏 第6回 クリエイティビティとコミュニケーション 講師:コトノオト 代表 上野 賀永子 氏



第7回 財務マネジメント

講師:中山経営財務コンサル 代表 中山 誠司 氏

第8回 ドラッカー マネジメント

講師:オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第9回 キャリアデザイン

講師:大門社会保険労務士事務所 社会保険労務士 大門 充子 氏



第10回 マーケティング・顧客管理、まちづくり

講師:株式会社大和 取締役富山店長 中﨑 俊也 氏

第11回 コトラー マーケティング

講師:オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第12回 生産管理理論

講師: 三協·立山株式会社 元常務執行役員 内嶋 錬一郎 氏



第13回 持続性と企業経営 ~企業セクターの役割を考える~

講師:富山県民ボランティア総合支援センター 専務理事 村田 芳朗 氏

第14回 バーニー 資源ベースの戦略論

講師:オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第15回 実践経営学まとめ

講師:オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏



以上

大学コンソーシアム富山 2022 年度「とやまの食文化」実施報告

事業名	単位互換科目 共同授業科目「とやまの食文化」
	単位互換付日 共同技業付日 こやまの長文化]
実施機関名	富山短期大学 担当教員:食物栄養学科 中根一恵 講師
趣旨・目的	とやまの先人の知恵が育んできた食文化について、地形や自然環境を学習し、健康についての科学的な視点、食体験や実習により理解を深める。外部講師を招聘し、各地域の食文化の成り立ちなどを具体的に知ることで、とやまの食の魅力について考える。「とやまの食文化を次世代にどのように伝えていったらよいか」をテーマに意見交換、意見の発表を行い、「とやまの食文化」について知識や理解を深めることを目的とする。
開催日時	令和 4 年 9 月 5 日 (月)、7 日 (水)、8 日 (木) 3 日間集中授業 5 日 : 9 時 10 分~16 時 20 分 7 日 : 9 時 10 分~14 時 40 分 8 日 : 9 時 10 分~10 時 40 分
開催場所	場所:富山短期大学 F館 204, 205 教室、106, 108 調理実習室 住所:〒930-0193 富山市願海寺水口 444
参加人数	(1) 参加学生 43 名 (受入れ許可 50 名) 富山大学 8 名 富山県立大学 6 名 富山国際大学 10 名 富山高等専門学校 5 名 高岡法科大学 1 名 富山短期大学 20 名 (2) 教員 (講師) 8 名 富山短期大学 5 名 外部講師 3 名 (3) 職員 1 名 富山短期大学 (事務業務) 1 名
事業内容	とやまの先人の知恵が育んできた食文化について、栄養学的視点や地形、自然環境などを学ぶことで、「食の宝庫」であるとやまの魅力を再発見につなげ、食体験や調理実習により、理解を深めた。さらに「次世代に伝えたい とやまの食文化」をテーマとして討議意見を出し合うことで、食文化の継承について考える機会とした。食物栄養学科の教員が講師を務めることで、食と健康の観点から現代の食事について考える機会となり、各地域の食文化の特徴を熟知した外部講師を招聘することで、過去から伝わってきた食文化について理解を深めることができた。

第2回 とやまの魚 そのおいしさの秘密と健康性について 竹内教授より、富山湾の特徴と富山湾に生息する多様な魚について詳しく学んだ。 ホタルイカの健康機能についても詳しく学ぶ機会となった。



第3.4回 県内各地の食文化 講義とパネルディスカッション

外部講師に佐伯氏、境氏、経沢氏を招聘し、各地域の食文化について詳しく学んだ。各地域の共通点や相違点、話を聴いて疑問に思ったことについて、講師の先生に回答をいただきながら地域の食文化への理解を深めた。



第5.6回 調理実習

富山県の食材を活用した郷土料理を実習した。 初めて出会う仲間と協力しながら取り組んだ。



大学コンソーシアム富山 令和4年度「富山学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目「富山学」
実施機関名	富山大学 奥 敬一(富山大学芸術文化学部教授)
趣旨・目的	・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・フィールドワークや地域のひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
開催日時	令和4年9月6日(火)、9月13日(火)、9月20日(火)、 9月27日(火)
開催場所	大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室1 五箇山合掌造り集落 他(9月6日は遠隔授業)
参加人数	学生44名 【内訳】・富山大学(32名) ・富山県立大学(11名) ・富山国際大学(1名)

事業内容

<1~3回 9月6日(火)1限~3限>

1. ガイダンス

講義全体の進め方、成績評価等についての解説 富山県の基礎情報:統計からみた富山

2. 富山の自然基盤(水循環)

立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ

3. 富山の自然基盤(植生)

過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説 し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてき た役割について理解する

<4~7回 9月13日(火)1限~4限>

- 4. 統計からみた富山(振り返り) 9月6日の回で学んだ内容と事後学習の内容を振り返る。
- 5. 富山の自然の保全

立山の自然の保全の実態や、自然環境と両立する観光のあり方、さらに自然保護に関係する仕事について学ぶ

外部講師:環境省立山管理官事務所国立公園管理官・中森 健太

6. 富山の自然基盤(生物多様性)

富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する

7. 富山の自然基盤 (総括)

富山の自然基盤についてのグループディスカッションを通して、富 山の特徴を生かしたライフスタイルとは何かを検討する。

<8~11回 9月20日(火)1限~4限>

8~11. 五箇山フィールドワーク

立山山系の地形的な特徴とその社会との関わりについて解説する

外部講師:五箇山自然文化研究会会員

9:45 富山大学五福キャンパス出発

11:00 菅沼集落到着

現地講師による菅沼合掌造り集落解説 五箇山民俗館、塩硝の館など見学

- 12:30 バスでタカンボースキー場へ
- 12:45 昼食 タカンボースキー場ふれあいハウス
- 13:30 タカンボースキー場茅場 茅場管理の取り組みについて解説 茅刈り体験(現地講師)
- 15:15 菅沼集落出発
- 16:30 富山大学五福キャンパス到着

<12~15回 9月27日(火)1限~4限>

12. 富山の歴史と文化(振り返り)

9月13日の回の事後学習、および9月20日のフィールドワークで学んだ内容について振り返る

13. 富山の歴史と文化(生活文化の景観)

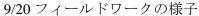
富山県内の自然環境に育まれた特徴的な生活文化の景観について解説する。

14. 富山の歴史と文化(海の文化とネットワーク)

立山山系と白山山系の両霊山を擁する富山には、信仰を背景とした 多様で奥深い山村生活の文化が根付いている。また、日本海に面した 富山は海や川を通して他地域ともつながりあってきた。富山の基層に 流れる山と水運の文化について解説する。

15. 総括

レポートにもとづくグループディスカッションと「富山学」のまとめ





大学コンソーシアム富山 令和4年度「人生100年時代論」実施報告

市	出位工 操 中国極業利日
事業名	単位互換 共同授業科目
	「人生 100 年時代論」
実施機関名/	富山短期大学
担当教員	担当教員:健康福祉学科 小平達夫准教授
趣旨・目的	「食と健康」、「子育てと社会」、「AI 時代の働き方」等を切り口に、本学が蓄積する「食と健康」「保育と子育て」「情報と経営」「福祉と介護」に関する教育・研究の実績を活用し、各講師が専門領域から現状と課題を分析する。また、富山県内で地域おこし協力隊として活動している方を招聘し、ワークショップを開催することで、受講生が「人生 100 年時代」を豊かに生き抜くための柔軟で多様なライフプランを構築できるようになることを目指す。
 開催日時	令和4年9月14日(水)9:10~14:40
	15 日 (木) 9:10~12:20
	16 日 (金) 9:10~14:40
	10 日 (並) グ・10 14・40
開催場所	
	富山短期大学
参加人数	令和4年9月14日(水)9:10~14:40
参加八数	
	(学生:27名 富山大学6名、富山県立大学5名、富山国際大学3名、
	富山高等専門学校1名、富山短期大学12名、教員:4名)
	令和4年9月15日(木)9:10~12:20
	(学生27名 富山大学6名、富山県立大学5名、富山国際大学3名、
	富山高等専門学校1名、富山短期大学12名、教員:3名)
	令和4年9月16日(金)9:10~14:40
	(学生:27名 富山大学6名、富山県立大学5名、富山国際大学3名、
	富山高等専門学校 1 名、富山短期大学 12 名、外部講師: 2 名、教員:
	1 名)
事業内容	「人生 100 年時代」の到来が叫ばれる昨今において、従来の「教育⇒
	就職・仕事⇒⇒定年・引退」という人生モデルが大きく変容しようと
	している。本講座は、富山県に在住する若者が地域の魅力を捉えなお
	し、多様な生き方に触れ、自らのライフシフトを選択していく機会と
	なる基礎講座と位置付ける。



多様性のある人生100年時代について学びました。



・人生 100 年時代を意識したグローバルな働き方について学びました。

大学コンソーシアム富山 令和4年度「富山とくすり」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目
事 未4	「富山とくすり」
 実施機関名/	富山県立大学
担当教員	担当教員:工学部医薬品工学科 中島 範行 教授
趣旨・目的	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き(剤形DDS、作用機序等)について理解を深める。
開催日時	令和4年9月26日(月)9時40分~17時00分 9月27日(火)9時40分~17時00分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室 2
参加人数	3 7 名
	【内訳】 富山大学:17名 富山県立大学:11名 教員:8名(講師7名、担当教員1名) 職員:1名
事業内容	【9月26日(月)】 ①ガイダンス/くすりの歴史と現状(9:40~11:10) (講師:富山県立大学工学部医薬品工学科 中島 範行 教授) ②医薬品の設計や合成と構造-活性相関(11:20~12:50) (講師:富山県立大学工学部医薬品工学科 濱田 昌弘 講師) ③微生物や酵素とくすり(13:50~15:20) (講師:富山県立大学工学部医薬品工学科 米田 英伸 教授) ④くすりのかたちと投与(15:30~17:00) (講師:神戸学院大学 福森 義信 名誉教授) 【9月27日(火)】 ⑤ナノテクノロジーとドラッグデリバリーシステム(9:40~11:10) (講師:富山県立大学工学部医薬品工学科 村上 達也 教授) ⑥遺伝子とくすり(11:20~12:50) (講師:富山県立大学工学部医薬品工学科 古澤 之裕 准教授) ⑦くすりが効くしくみとバイオ医薬品(13:50~15:20) (講師:富山県立大学工学部医薬品工学科 磯貝 泰弘 教授) ⑧免疫を調節する医薬品~抗体医薬品と T 細胞療法~(15:30~17:00) (講師:富山県立大学工学部医薬品工学科 長井 良憲 教授)



9月26日(月)1限目「ガイダンス/くすりの歴史と現状」



9月26日(月)4限目「くすりのかたちと投与」



9月27日(火)2限目「遺伝子とくすり」

大学コンソーシアム富山 令和4年度共同授業科目 「現代社会と法」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度共同授業科目
	「現代社会と法」 (矯正と共生)
実施機関名	高岡法科大学 担当教員:法学部 西尾憲子 教授
趣旨・目的	現代社会を表現することばとして、国際化、複雑化、情報化、多様化など、さまざまな形容がなされているが、まさに多種多様な意味を持ちながら激動的な社会状況である。そして、この現代社会において引き起こされる社会現象もまた目まぐるしい展開を続けている。本講義では、私たちが生活している現代社会に起きているあらゆる分野における問題解決のために、矯正と共生をキーワードにして、持続可能な社会構造を構築するために必要な対応とは何かを考える契機になるエッセンスを講義内容としています。
開催日時	令和4年9月5日(月)~9月9日(金)
開催場所	高岡法科大学 ミレニアムホール
参加人数	学生計50名:富山大学(2名)・富山短期大学(1名)・富山高等専門学校(6名)・高岡法科大学(41名)
事業内容	「刑法、刑事訴訟法、刑事政策のものの考え方」 第1回 (1) 刑事法上の諸原則 第2回 (2) 刑事法の根底にある基本原則 第3回 (3) 刑事法の理論と実務 講師:中央大学法学部 教授 只木 誠 氏
	「検察の捜査過程における被疑者の更生に向けた取組み」 第4回 (1) 被疑者の更生のために取調べが重要な役割を演じていること 第5回 (2) 被疑者の処分に当たって更生を考慮していること 第6回 (3) 被疑者の起訴が更生に役立っていること 講師:昭和大学医学部 教授 城 祐一郎 氏

「矯正と地域社会との連携に向けて」

第7回 (1) 矯正施設収容者, 矯正処遇の概要

第8回 (2) 二度と犯罪に至らせないための更生支援策の概要

第9回 (3) 地方自治体、地域社会の活動との連携

講師:日本司法支援センター 理事 名執 雅子 氏



「地域社会における具体的な更生保護活動」

第10回 (1) 富山県における更生保護活動の概要とその活動主体

講師:高岡法科大学法学部 教授 西尾 憲子 氏

第11回 (2) 更生保護施設の役割と活動内容

講師: 更生保護施設富山養得園 施設長 島田 昌彦 氏

第 12 回 (3) 高岡市保護司会,高岡市更生保護女性会,高岡市 BBS 会及び高岡市協力雇用主会の役割と活動内容

(パネルディスカッション)【パネリスト:高岡市保護司会,高岡市更生保護女性会,高岡市 BBS 会及び高岡市雇用主会】

コーディネーター: 高岡法科大学法学部 教授 西尾 憲子 氏



「いじめ問題における矯正と共生」

第13回 (1) いじめとは何かということ

第14回 (2) いじめ問題と加害・被害

第15回 (3) いじめ問題と共生

講師:東京経済大学現代法学部教授·獨協地域と子ども法律事務所弁護士 野村 武司 氏



大学コンソーシアム富山 令和4年度「時事的問題」実施報告

事業名	
7· X· H	大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目
	「時事的問題」
実施機関名	富山大学
	高山 龍太郎 (富山大学経済学部教授)
趣旨・目的	(1)日本社会が抱える各分野の課題について理解すること (2)それらを踏まえて、将来自分が何をなすべきか、社会の課題と 関連させて自分を位置づけること (3)そのための第一歩として、大学在学中に何をしたら良いか、具 体的に目標を定めること
開催日時	
	令和9年9月9日(金)、9月29日(木)、9月30日(金)、 10月1日(土)
開催場所	
7,3 (12 %)	富山大学五福キャンパス (9月9日は遠隔授業)
参加人数	学 4 0.7 5
	学生 87名 【内訳】・富山大学(74名)
	・富山県立大学(12名)
	・高岡法科大学(1名)
事業内容	<1日目 9月9日(金)>
	(講師:株式会社 HI イニシアティブ代表取締役、NPO 法人 CeFIL デ
	ジタルビジネスイノベーションセンター共同設立者・西野弘、株式会
	社トリエス エグゼクティブディレクター・佐藤真悟)
	第1回(3限)今こそ自己イノベーションを起こすとき!! 第2回(4限)自らが考える価値基準を持つ意味・ワークショップ
	Man (Ind) ind Dard A 回 in B 本土で N フ B 外 ・ ノ ・ ノ マ ヨ ソ ノ in in B 中 で N フ B 外 ・ ノ ・ ノ マ ヨ ソ ノ in in a man in a
	< 2 日目 9 月 2 9 日 (木) >
	(講師:子羊会グループ・朝日ケアコンサルタント(株)取締役・グ
	スタフ・ストランデル、西野弘、佐藤慎吾)
	第3回(2限)日本の少子高齢社会における家族と社会の役割
	第4回(3限)スウェーデンの有名な福祉国家の表と裏 第5回(4限)我々の考えをグレートリセットすべき!!
	第6回(4限) パネルディスカッション
	<3日目 9月30日(金) > (講師: CLO ラボ代表取締役社長・三井幹陽, 西野弘, 佐藤慎吾)
	第7回(1限)大学生活と将来の社会生活はどのようにつながって
	いるか1
	第8回(2限)大学生活と将来の社会生活はどのようにつながって
	いるか2

第9回(3限)「外の景色」はどんな景色?1

第10回(4限)「外の景色」はどんな景色?2

第11回(5限)映画「未来の学校」

<4日目 10月1日(土)>

(講師:株式会社ビジネスリファイン代表取締役・大野祐子,富山大学経済学部教授・高山龍太郎,西野弘)

第12回(2限)これからの時代のキャリア形成

第13回(3限) SDGs (持続可能な開発目標)を通じて、社会変 革への参加意義を学ぶ

第14回(4限)パネルディスカッション

第15回 (5限) まとめ

大学コンソーシアム富山 令和4年度「データサイエンスの実践」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目「データサイエンスの実践」
実施機関名	富山大学 栗本 猛(富山大学教養教育院教授)
趣旨・目的	データを利活用するにあたっては、統計、コンピュータを用いたデータ処理、プログラミング基礎等の知識と技術が重要になる。本授業では必修科目である「情報処理」で学んだ IT 技術をベースとして、それをさらに発展させたデータサイエンスの基礎技術を身につけることを目標とする。
開催日時	令和4年9月5日(月),9月6日(火),9月7日(水)
開催場所	富山大学五福キャンパス
参加人数	学生18名 【内訳】・富山大学(14名) ・富山高等専門学校(4名)
事業内容	●第1日目 (9/5) 第1回 データサイエンスの概念と表計算ソフト を用いたデータ 分析-1 (平均,標準偏差,ヒストグラム) 第2回 表計算ソフトを用いたデータ分析-2(散布図,相関係数, 回帰直線)
	●第2日目 (9/6) 第3回 データ操作のための技術とプログラミングの基礎 第4回 R によるデータ分析-1 (平均,標準偏差,ヒストグラム) 第5回 R によるデータ分析-2 (散布図,相関係数,回帰直線)
	 ●第3日目(9/7) 第6回 R によるデータ分析-3(主成分分析, クラスター分析) 第7回 Python によるデータ分析-1 (散布図, 相関係数, ヒートマップ) 第8回 Python によるデータ分析-2(主成分分析, クラスター分析)

大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」
実施機関名	富山大学 奥寺 敬(富山大学客員教授 附属病院先端危機管理医学)
趣旨・目的	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに,富山県の災害と 防災対策,富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて,地 域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修 を提供する。
開催日時	令和5年2月13日(月),14日(火),15日(水),16日(木) 17日(金)
開催場所	富山大学五福キャンパス及び四季防災館
参加人数	学生 59 名 【内訳】・富山大学(55名) ・富山県立大学(1名) ・高岡法科大学(3名)

事業内容

2月13日(月)

第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学 (富山大学客員教授 附属病院先端危機管理医学 奥寺 敬 氏)

第2回 災害ボランティア活動の基本 (災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏)

第3回 被災地での安全衛生とコミュニケーション (災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士 宮﨑 賢哉 氏)

第4回 災害時のリーダーシップとチームビルディング (災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士 宮﨑 賢哉 氏)

2月14日 (火)

第5回 災害時の医療救援活動 (富山県立中央病院救命救急センター医師 若杉 雅浩 氏)

第6回 災害時に求められるケア (富山大学大学院医学薬学研究部(看護学) 伊井 みず穂 氏)

第7回 富山県の防災対策 (富山県防災・危機管理課地域防災班長 前山 巌 氏)

2月15日(水)

第8回 自然について学び・深めて災害対策 (富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏)

第9回 大学における災害対策 (富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏)

第10・11回 四季防災館で講義・体験学習 (富山県広域消防防災四季防災館)

2月16日(木)

第12・13回 普通救命講習 (AED 含む)

(富山市消防局)

2月17日(金)

第14回 地形図から災害を予測する

(富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏)

第15回 防災机上訓練 DIG 洪水ハザードマップの活用 (富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏)



第10・11回 地震体験(四季防災館)



流水体験 (四季防災館)



消火器放水体験 (四季防災館)



第12・13回 普通救命講習



大学コンソーシアム富山 令和4年度「教養特別講座」実施報告

大	学コンソーシアム富山 令和4年度「教養特別講座」実施報告
事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度共同授業科目「教養特別講座」
実施機関	富山国際大学(担当教員:大谷孝行 富山国際大学 現代社会学部教授)
趣旨・目的	本講座では人間の笑いを様々な側面から考察し、笑いの特徴や奥深さについ て理解するとともに、ままならぬ人生を前向きに前進する力を身につける。
開催日時	令和5年2月20日(月)・21日(火)・22日(水)・24日(金)の4日間
開催場所	Zoom による遠隔授業
参加人数	学生 36 名 【内訳】・富山大学 22 名 ・富山県立大学 6 名 ・高岡法科大学 2 名・ 富山短期大学 1 名・富山国際大学 5 名
事業内容	【令和4年度概要】 今年度の「教養特別講座」は、人間の笑いを様々な側面から考察し、笑いの特徴や奥深さについて理解するとともに人生を前向きに前進する力を身につけることを目的に企画・実施しました。 講義は全て本学の教員が担当し、そのうちの3回は情報・国際・福祉関係の教員が専門分野を生かして学生に笑いの重要性を伝えました。 講義修了後の授業アンケートでは、総合評価4.5 (5点満点)と高い評価を得ることができ、学生と教員ともに満足のいく結果になりました。この結果をもとに、来年度の講義も力を注いでいきたいと思います。 【第1日目:2月20日(月)】 (講師:富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行) ① オリエンテーション、笑いを「笑いの理論」から理解する(9:00~10:30) ②日本の芸能の理解を深める(1)(10:40~12:10) ③日本の芸能の理解を深める(2)(13:00~14:30) ④1日目の総復習(14:40~16:10)
	【第2日目:2月21日(火)】 (講師:富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行) ⑤日本の芸能の理解を深める(3) (9:00~10:30) ⑥大阪の笑いに学ぶ (10:40~12:10) ⑦様々な学問分野から笑いを考える (1) (講師:富山国際大学現代社会学部准教授 Bogdan PAVLIY) (13:00~14:30) ⑧2日目の総復習 (14:40~16:10)

【第3日目:2月22日(水)】

(講師:富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行)

- ⑨映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(1)(9:00~10:30)
- ⑩映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(2) (10:40~12:10)
- ① 「老いと笑い」について考える(13:00~14:30)
- ⑫人生におけるピンチと笑いについて考える(14:40~16:10)

【第4日目:2月24日(金)】

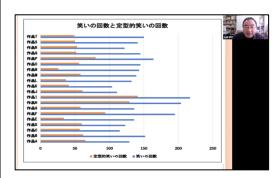
⑬様々な学問分野から笑いを考える(2)

(講師:富山国際大学現代社会学部准教授 豊岡理人)(9:00~10:30)

⑭様々な学問分野から笑いを考える(3)

(講師:富山国際大学子ども育成学部教授 村上満) (10:40~12:10)

⑤「幸福と笑い」について考える(13:00~14:30)

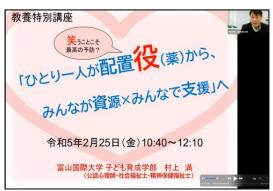




(富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行)

(富山国際大学現代社会学部准教授 Bogdan PAVLIY)





(富山国際大学現代社会学部准教授 豊岡理人)(富山国際大学子ども育成学部教授 村上満)